



河童の寢言

川野義士

國際觀光道路——何といふ名だらう。近頃では「日本……」

「……」、「東洋……」の名では世間が承知しない。何でも「國際」でなければ通りが悪い。但し例外的なものは國際聯盟だけだ。

國際觀光局なるチンドン屋式のお役所が出来て、サアイラツシヤイ……と喚き立てた處で、世界各國軒並の赤字オンパレードでは、想つた程の客足もなく、折角唐人の財布を絞りに絞りに貿易外の受取勘定を稼がうと思つたのも難喜

び、徒に地元や宿屋を踊らしただけとは心細いが、時節柄己むを得まい。

此の實際よくこしらへたのが國際觀光道路計畫。一體觀光と云へば風景を訪ね廻ることと辭書にある様な解釋許りもして居ないだらうが、朝から晩まで毎日々々、景色だけ押賣されては、異國人ならずとも日本人でさへ神經衰弱になること請合だ。觀光道路も時に奥の院觀音様への參詣道との連絡をも必要とする所以亦茲に存する。路政僧の一

考を望むこと切なり。

電氣仕掛道路——電氣信號でゴー、ストップをやる道路ではない。水力電氣のお蔭で出来る道路のことだ、と言つても一寸解るまいが、説明すれば左の通り。

「今般右ノ者ニ對シ……川ノ水ノ使用及水路開鑿並其ノ附屬物ノ施設ヲ許可スルニ付別紙命令書ヲ下付ス」と云ふ指令書と一所に、命令書第……條かに「××村ヨリ△△村ニ至ル……キロメートル間ニ有効幅員△米ノ車馬ヲ通ジ得ベキ道路ヲ築造シ一般交通ノ用ニ供セシムベシ」とな條件が付けられ、水電會社でも少し苛酷だと思つても、どうせ工事材料の運搬にも使ふ道路だからと、澁々ながら仰に従つて山の中に立派な道路が出来上り、やがて之が府縣道××、○○線とな、エー、ワンクラスの山間道路になる。

上高地への觀光道路然り、宮崎縣五ヶ瀬川、耳川沿岸の府縣道、岐阜縣庄川上流の百萬圓の府縣道等々皆此の手でこんな道路の現物呈供の他、改修費のお手傳をさせられて居ることは言はずもがなである。

酷道と腐蝕道——怒つちやイケない實際だから。名前だけ國道でも、自動車は愚か徒歩でも足の裏が痛くなる位、夏は草莽々、貫ひがないから乞食も通らぬ酷道は到る處にザラにある。腐蝕道に至つては數限りなし。之も國防上、經濟上の値打がないものならば格別だが、認定した手前今更そんなことも言へぬ義理、改修したいは山々なれど、肝心の財布が空なので、何時になつたら通れる様になるやら見當が付かぬとは心細い。

だが迷惑するのは地方の人で、自動車の車軸が路面に問へるので、僅かな處を二三里も遠廻りさせられたり、車の後から綱引でブレーキの加勢をしなくては坂が下りられないと云ふ様な實例もある。

警戒標と方向標——大正十一年十一月内務省令第二七號と云ふ嚴めしい省令で、警戒標や方向標を建設すべしと命令した處で、要は經費の問題だ。十年経つた今日でも餘り普及して居らぬ。偶々建つてあれば乗合自動車屋の自辨物とは情けない。一體あの標識の恰好が氣に喰はぬ。もう少

し風流味があつてもよさそうなのだ。あの柱に體裁よく廣告が出来る様に工夫すれば、廣告料金で經費位は賄なへそうなのだ。路政當居よ少し智恵を出しなさい。

掃溜に鶴——大きな國道橋や府縣道橋は偉い人達が頭を捻つて設計して居るから、近邊の風物と釣合がとれて仲々美事に出来てゐるが、時に帝都復興道路に在る大橋梁の親柱や欄干が田舎道の小橋に其の儘コツピーされて大きな顔をして居るには驚かされる。東北の下町——大抵の人は知らない位の小さな町だが、近頃十萬圓も奮發して、目貫通りを高級舗装した。嗚や草鞋が恐縮してることだらう。

河童の寢床——山間部の川沿道路では、片や山、片や川だから勢ひ川側に護岸工事が必要とするが、道路工事本位に仕事をするものだから兎角河川が虐待され勝だ。道路の法留工を丈夫にすると云ふ積で、川の中殆ど全體を木床張にした工事がある。何のことはない河童の寢床を造つた様なもので、平時の流積を絞るから、隨所に深掘れが出来出本時には、此の意趣返しか道路は忽ち決潰、交通途絶の憂

き目に會はされた例がある。橋臺でも其の通り、水刴か橋臺か別らぬのが往々ある。之ではお互に損だ。餅屋は餅屋こんな事は河川工事の専門家に諮つて設計をして貰ひ度い

砂利辨がアキレマス——砂利を入れて置くからこそ砂利拵だが、折角造つた鐵筋コンクリートの拵の中に、茶種の花が咲いたり、薄の穂が出て居たりしてゐるのでは、修路費の濫用か不足かの見當が付かぬ。こんな處に限つて、河原か道路か分らぬ程に大粒砂利が撒いてある。何が何だか愈々以て分らぬが、通らされる者こそ迷惑至極、荷馬車や自動車が行き止まりにさせられるのだから。

簡易と感違——簡易とは手輕を意味すること簡易食堂の如し。然り貧乏人が料亭で飯を食へぬ如く、貧乏豫算では高級舗装は望み得ぬ。茲に於て已むなく簡易舗装となるのであるが、簡易は元々簡易、一時凌ぎにはなるが、永久の力にはならぬ。處が此の理窟は素人には分らず簡易舗装の磨損が直ぐ不正工事呼ばりにされるのには困つたものだ。此の感違を簡易に解かせる良法はないものか。